



各 位

会社名 日立建機株式会社
代表者名 執行役社長 木川 理二郎
(コード番号:6305 東証・大証第一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
石井 史郎
(TEL 03-3830-8065)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代表者名 執行役社長 古川 一夫
(コード番号:6501)

業績予想との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月25日に公表した業績予想から差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	490,000	46,600	44,000	25,700	120円17銭
今回実績(B)	454,052	47,129	45,452	22,225	103円91銭
増減額(B-A)	35,948	529	1,452	3,475	-
増減率(%)	7.3	1.1	3.3	13.5	
(ご参考)前中間期実績 (平成20年3月期)	415,926	50,985	46,661	23,335	116円47銭

(2) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	262,900	6,300	10,300	8,000	37円41銭
今回実績(B)	254,650	14,365	18,193	13,490	63円07銭
増減額(B-A)	8,250	8,065	7,893	5,490	-
増減率(%)	3.1	128.0	76.6	68.6	
(ご参考)前中間期実績 (平成20年3月期)	229,650	21,023	22,601	14,361	71円68銭

(3) 修正理由

米国発のサブプライムローン問題に端を発した金融危機が、地域別に濃淡の差はありますが、实体经济に悪影響を及ぼす事態となっています。

こうした中で、当第2四半期累計期間の世界油圧ショベル需要は、当初の想定より減少いたしました。特に欧州の乖離が大きく、日本・米州も悪化してまいりました。

そのため、連結業績につきましては、売上高は前回見通しを下回りました。

一方、間接費の縮減に努めたことにより営業利益、経常利益は前回予想値を上回ることとなりましたが、四半期純利益については前回予想を下回りました。

個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様に売上高については前回予想を下回りました。営業、経常、四半期純利益につきましては、間接費の縮減及び為替レートが想定よりも好転したことが主要因となり前回予想値を上回りました。

なお、通期業績予想につきましては、平成20年10月28日の平成21年3月期第2四半期決算発表時にお知らせします。